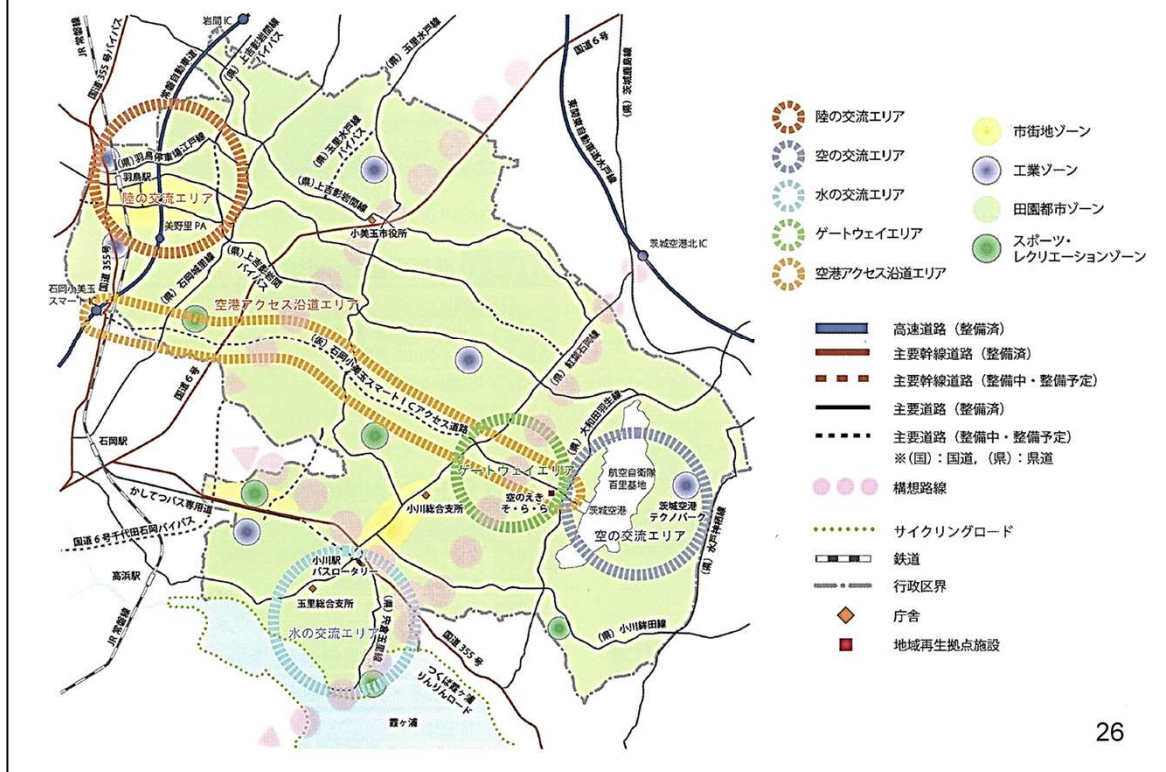


第2次総合計画:10年間の指針



26

【総合計画とは10年間の指針】

総合計画も、小美玉市にとって第2次計画となりました。

平成18年3月に小美玉市が誕生し、はやいもので12年が経過しました。これまでは「地域の一体感」をどう進めるべきかがテーマでした。

各地域の特徴を活かしつつ、格差が生まれないように事業を展開してまいりましたが、これからはもっと地元への愛着心を高め、外に発信していかなければなりません。

そこで、少子高齢化、人口減少社会を迎え、財政運営もより厳しさを増すなかで、今回の第2次総合計画のテーマは「チャレンジ」「シビックプライド」「発信」の3つの柱を基本理念に掲げ、「ひと・もの・地域が輝き、はばたく、ダイヤモンドシティ〜見つける。みがく。光をあてる」をまちづくりの将来像として定めたところです。

「住んでみたい、住んでよかった、これからも住み続けたい」と思える魅力ある街にするためにはどうすべきか、この総合計画は、その指針となりますが、皆さんと知恵を結集して、連携を深めながら果敢に挑んでいきたいと思えます。

本日は、これからの市政をどうすべきかが問われる、中長期的な視点で4つの方策を説明していきます。